

主催：対馬市・日本鱗翅学会自然保護委員会
協賛：(公財) 自然保護助成基金
後援：NPO 法人日本チョウ類保全協会、(一社) MIT、(一社) daidai

第2回 ツシマウラボシシジミ保全シンポジウム

対馬固有の蝶 ツシマウラボシシジミ を守ろう

— 希少チョウと人との共存共栄を探る —



14:00~16:30

現地参加会場：対馬市交流センター 3階 大会議室

現地お問い合わせ：対馬市自然共生課 電話 0920-53-6111

Zoom オンライン参加

以下 URL の参加登録フォームから申し込み (締め切り 3月10日)

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdeRI6bmicMtEldgVzRmFMj3XDAi8aNFhfKMKJVNor8MQ1JzQ/viewform>



入場料：無料

日本では対馬にのみ生息する固有亜種で、国内希少野生動植物種にも指定されているツシマウラボシシジミ。その保全活動に取り組む様々な主体（行政、保全体、動物園、大学、学会、企業など）が、活動や研究成果を報告して現状を紹介するとともに、この蝶を守るための取り組みについて、参加者の皆さんと一緒に考える公開シンポジウムです。

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対馬市内の会場とオンライン（Zoom ミーティング）の双方で参加できるハイフレックス型で開催致します。島外の講演者はオンラインでの講演となります。

*本案内の配布・転送を歓迎致します。参加資格は問いませんので、友人・知人にもお声がけ頂けますと幸いです。

プログラム

- 14:00 ~ 14:05 開会挨拶／趣旨説明 神宮周作（対馬市農林水産部自然共生課）
- 14:05 ~ 14:25 基調講演「日本産チョウ類の現状とツシマウラボシシジミの生息域内保全」 中村康弘（日本チョウ類保全協会）
- 14:25 ~ 14:45 「ツシマウラボシシジミ生息域外保全の拠点を担う事業活動」 水落 渚・関根雅史（足立区生物園）
- 14:45 ~ 15:05 「生息域外コリドーをめざしたツシマウラボシシジミ保全の取り組み」 清水聡司（箕面公園昆虫館）
- 15:05 ~ 15:10 ~ 休憩 ~
- 15:10 ~ 15:30 「ツシマウラボシシジミ保全を目的とした飼育技術開発実験」 平井規央（日本鱗翅学会／大阪府立大学）
- 15:30 ~ 15:50 「ツシマウラボシシジミと人との共存に向けた博物館活動」 谷尾 崇（対馬博物館）
- 15:50 ~ 16:10 「チョウの生息環境改善に向けた対馬のシカ対策の取り組み」 齊藤ももこ（(一社) daidai）
- 16:10 ~ 16:30 総合討論 司会・矢後勝也（日本鱗翅学会／東京大学総合研究博物館）
- 16:30 閉会挨拶



デザイン：原田 一志